

バレエ環境調査グループ

国内外におけるバレエ環境の情報収集・調査を行い、その成果をウェブサイトや刊行物を通じて公開しています。本研究を通じて日本におけるバレエ教室数、バレエ学習者数、バレエコンクール数など、バレエ研究に必要な情報が把握できます。こうしたデータは日本におけるバレエ環境の包括的な理解に不可欠であるほか、振興施策にも必要です。また社会的ニーズも高く、テレビや新聞をはじめとしたメディアでもたびたび使用されています。すでに『バレエ教育に関する全国調査2016』と『全国バレエコンクール調査2016』を実施いたしました。

調査報告① バレエ教育に関する全国調査2016

国内のバレエ環境の把握を目的として、バレエ環境についての大規模なアンケート調査を実施いたしました。バレエ研究所では、2011年9月に日本ではじめて全国のバレエ教室を対象とした全数調査を実施し、その調査結果は多くの反響を呼びました。はじめて全国調査を行ってから5年が経過し、バレエ教育市場はどのように変化したのか、より正確なバレエ学習者数と現在の日本におけるバレエ教育環境の実態を数値化した最新のデータを得ることを目指して調査を行いました。

【調査期間】 2016年9月5日～9月30日

【調査対象】 バレエ教育を行っている組織・団体

【調査方法】 郵送法による調査

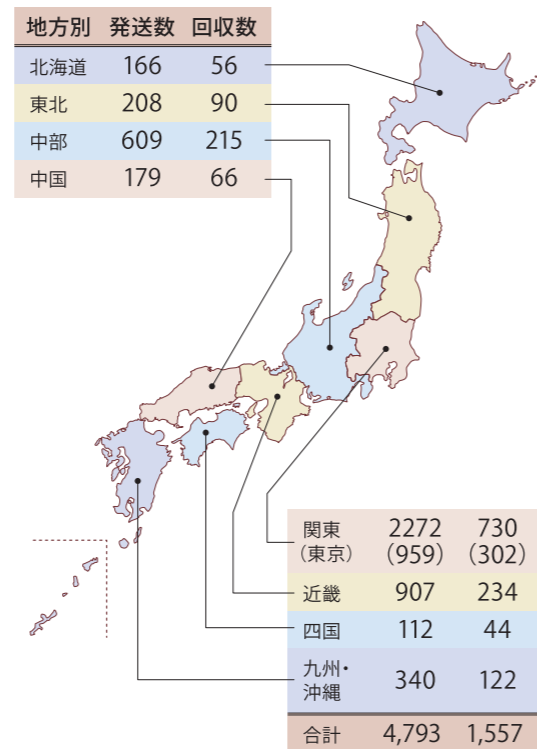
【調査内容】 バレエ教室の経営主体及び教育内容について

全国のバレエ教育を行っている組織・団体の情報を可能な限り網羅的に収集し、全国4,793件のバレエ教育機関に調査票を送付し、回収率32.5%、1,557件の回答を得ることができました。回答票のデータ集計と基本的な統計分析を行った結果、日本のバレエ教育市場規模は**この5年間で約1割縮小、バレエ学習者総数は35.8万人であることが明らかとなりました。**バレエ教育内容については、プロ養成のための専門的なクラスを実施している教室が増加、**バレエコンクールへの参加も増加**していることなどがわかりました。今後も、さらにさまざまな角度から調査結果の分析を進めていく予定です。



「バレエ教育に関する全国調査2016」の調査内容をまとめたリーフレットを作成しました。このリーフレットは、本調査にご協力頂いた皆様をはじめバレエ関係者に広く配布するとともに、バレエ研究所ウェブサイトでも公開しております。ダウンロードをしてご覧頂くことが可能です。

■ 地方別の発送数と回収数



■ 回収結果

	2011年	2016年
発送数	4,630件	4,793件
返送数	1,484件	1,557件
回収率	32.1%	32.5%
バレエを教えている教室数	1,335件	1,503件
生徒数の有効回答数	1,304件	893件

■ 推定結果

推定数	2011年	2016年
全国教室数	4,530件	4,640件
全国学習者数(人口比)	40.0万人(0.31%)	35.8万人(0.28%)
全国男子生徒数(学習者比)	5.5千人(1.4%)	7.9千人(2.2%)
全国教師数	1.9万人	1.5万人

▶ 調査結果(一部)



調査報告② 全国バレエコンクール調査2016

日本ではじめて、全国のバレエコンクールを対象とした全数調査である「全国バレエコンクール調査2016」を実施いたしました。この調査によって、コンクール数、応募者数、審査内容など国内コンクールの実態がデータを通じて明らかになりました。当調査では予備調査として、2015年に全国で開催されたバレエコンクールの情報収集・精査をしたのち、2016年に本調査を行いました。

【調査期間】 2016年11月28日～12月31日

【調査対象】 2016年に開催された国内バレエコンクール

【対象主催団体】 61件

【対象バレエコンクール】 106件

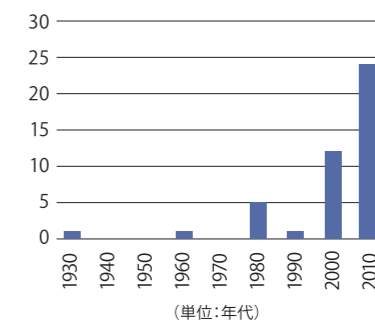
【調査方法】 郵送法による調査

バレエコンクール事務局を対象にアンケートを送付し、回答率は42%でした。回答があったバレエコンクールのうち、**80%以上が2000年以降に創立している**ことがわかりました(図1参照)。また1回のコンクールに対して平均応募者数は282名であり、全国では**年間のべ約2.9万人**が参加していることが明らかとなりました。審査回数については、半数以上が審査1回のコンクールで、多いもので審査3回でした。審査内容は古典作品のヴァリエーション審査が多く、またコンテンポラリー審査も3割を占めていました。受賞者への褒賞は賞品が最も多く、次点が賞金、また半数近くのコンクールで海外バレエスクールのスカラシップや、海外バレエコンクールの出場権が贈られていることが明らかになりました。出場料について、コンクールパンフレットより収集できた33件の事例から分析したところ、平均出場料は21,745円でした。詳細な調査結果は、今後刊行予定の報告書に掲載するほか、ウェブサイトで公開予定です。

■ 表1:開催地

地方別	開催件数	開催率
北海道	4件	4%
東北	4件	4%
中部	15件	14%
中国	7件	7%
関東	46件	43%
近畿	17件	16%
四国	3件	3%
九州・沖縄	10件	9%
合計	106件	100%

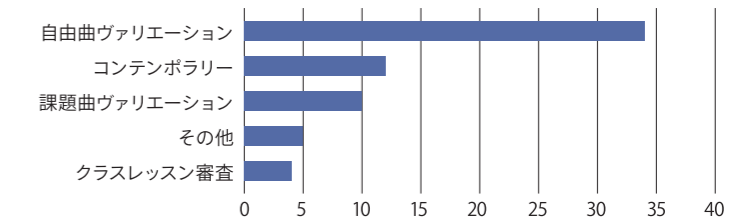
■ 図1:創立年



■ 表2:応募者数

	n	割合
100名未満	4	9.1%
100名～300名未満	26	59.1%
300名以上	14	31.8%
全体	44	100.0%
平均人数	282.18人	

■ 図2:審査内容



■ 図3:受賞者への褒賞

